

平成29年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

生涯学習部

事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 19 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 芸術・文化の振興

(基本事業) 芸術文化鑑賞・体験機会の創出

新規

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 **「第二楽章」男鹿和雄展開催事業**

【29年度】 **11,060** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **11,060** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,625	9,435

「第二楽章」事業収入

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

大仙市出身(旧太田町三本扇)の美術監督・挿絵画家である男鹿和雄氏は、数々のスタジオジブリ作品の美術を担当し、特に背景美術の要として高い評価を得ている。

地域住民にとって、世界に誇る美術監督・挿絵画家である男鹿和雄氏が大仙市出身であることを改めて知るきっかけとなり、鑑賞を通じ地域全体の芸術文化振興へ結びつく成果と、県内外から訪れる来場者には平和の尊さを後世へ伝えていく重要なメッセージ性を持った絵画展として開催する。

【目標】 来場者／大人2,500人、小人1,000人

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

○開催事例：広島県(H27.7.4～8.30・筆の里工房)	来場者7,727人(154人/日)
長崎県(H27.12.12～H28.1.24・長崎歴史文化博物館)	来場者5,204人(130人/日)
福島県(H28.2.27～3.21・ビッグパレットふくしま)	来場者1,643人(68人/日)

3. Check (評価：問題と課題)

氏の出身地として待望・初の開催となるため、事業周知はもとより、コンスタントな事業集客に繋がるように、継続的な情報発信や関連イベントの実施が必要である。

4. Act (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大仙市出身のスタジオジブリ美術監督・挿絵画家である男鹿和雄氏が、自らの絵筆で生み出した数々の作品を通じ、尊い平和へのメッセージを伝える「第二楽章」男鹿和雄展を開催する。

また、折り鶴などを通じ平和を願う男鹿和雄氏によるワークショップや、スタジオジブリの協力により、関連する映像の上映会等を地元で初めて開催し、地域や世代を超えた恒久平和への思いを伝える。

【事業内容】

○「第二楽章」男鹿和雄展(大仙)

開催期間：平成29年7月15日(土)～8月20日(日)
 10:00～16:00(最終入場15:30)／大曲交流センター
 展示作品：70余点(予定)
 入場料：大人500円、小中高生300円(幼児無料)

関連催事：男鹿和雄氏「ワークショップ」&「サイン会」
 (7月15日(土)／大曲交流センター)

男鹿和雄氏関連映像作品「上映会」
 (8月上旬予定／大曲市民会館・小ホール)

○その他関連行事

・『秋田、遊びの風景』展／(同時期開催)

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 10 事業

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策) 公共施設の効率的な運営

(基本事業) 施設の長寿命化の推進

継続

課所名：生涯学習部生涯学習課

『事業名』 **公民館管理費**

【29年度】 **219,581** 千円 【28年度】 **200,299** 千円 【増減額】 **19,282** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,168			14,138	203,275

公共施設等修繕引当基金繰入金 9,341千円
公民館使用料 ほか 4,797千円

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市内各地域にある公民館を管理運営するために必要な経費であり、生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市民に広く利用していただくためにも築年数の古い公民館については年次計画により耐震診断をおこない、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し長寿命化を図るなど安全に使用できる環境を維持することを目的とする。

【目標】 公民館施設利用者 総数 475,000人

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

これまで生涯学習活動、地域活性化活動の拠点施設として利用者が清潔で安全に使用できる環境を提供し、公民館運営及び維持管理が図られてきた。

【各地域公民館施設利用者数（実績）】 (人)

年度	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田	計
H26	169,124	38,818	34,278	93,517	37,539	4,117	56,403	27,093	460,889
H27	169,857	45,503	35,467	98,542	33,066	4,214	48,518	37,180	472,347

3. C h e c k (評価：問題と課題)

各施設とも老朽化による維持修繕費が増加傾向にあるため、大仙市公共施設等総合管理計画に沿った長寿命化対策や施設の統廃合などの検討が必要となる。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

公民館管理費は、市民が生涯学習活動・地域活性化活動の拠点施設として利用する上で必要不可欠な経費であるが、運営方法の見直しによるコストの削減を図るとともに、施設の老朽化対策を講じながら利用者のニーズにあった施設の運営、管理を行っていく。

【市内公民館数（分館等含む）】

地域	大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田	計
館数	8	3	5	7	5	1	1	1	31

【主な修繕等の内訳】

修繕料	サンクレスト大曲	高圧気中開閉器取替修繕	690 千円
	大盛館(協和地区)	〃	725 千円
	大沢郷地区公民館	屋根塗装修繕	1,290 千円
	大曲公民館別館	給水施設改修	432 千円
	土川地区公民館	屋根・外壁修繕	1,318 千円
委託料	太田文化プラザ	改修工事実施施設業務委託	2,727 千円
	清水分館	改築工事実施施設業務委託	16,933 千円
	角間川公民館	耐震診断業務委託	2,746 千円 (補助)
	四ツ屋公民館	〃	3,760 千円 (補助)
工事費	太田生活改善センター	屋根改修工事	7,341 千円

事 業 説 明 書

10 款 5 項 4 目 99 事業

(施策の大綱)生涯学習の推進

(施策)生涯学習の推進

(基本事業)

「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づいた読書推進事業の実施

継続

課所名：生涯学習部生涯学習課総合図書館

『事業名』 **子ども読書活動推進事業費**

【29年度】 **6,133** 千円 【28年度】 **6,060** 千円 【増減額】 **73** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				6,133

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、大仙市の乳幼児から小・中学生の子どもが本に親しみ、読書する意欲を高め、生涯にわたって読書を継続してく習慣を培えるように、家庭や地域、学校、図書館などが連携し、協力して読書活動を推進していく。

目標：子ども読書支援サポーターによる学校訪問数 市内小中学校の全校 32校

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

○ブックスタート事業

・4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者を対象に、絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを支援していく。平成22年度から実施され、保護者からも好評を得ており地域に定着してきている。

【配布実績】

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
人数	563	495	524	530	488	521

○市立図書館と学校図書館の連携

・子ども読書支援サポーター3名を大曲地域、東部地域、西部地域に配置し、学校図書 of 整理や修理、展示、調べ学習用図書の団体貸出、読み聞かせなど子どもたちの成長にあわせた読書活動を支援することで、学校図書館の読書環境は改善されている。

【貸出実績】

年 度	H24	H25	H26	H27
団体貸出冊数	12,011	12,896	13,413	12,651

○だいせん読書の日における読書活動の推進

・11月の「だいせん読書の日」には各図書館でイベントを開催している。大曲図書館では、“気軽にぶらりと来ていただけるライブラリー”を目指し、「来ぶらりフェス」を開催。読み聞かせ、郷土資料公開講座、本のカバー掛け講座、コーヒーの淹れ方講座、雑誌等リサイクルを実施し、図書館利用者や来場者に好評だった。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

学校からの子ども読書支援サポーターに対する要望は、多様に増えてきており、学校毎に支援内容が偏ることのないように対応することが課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

ブックスタート事業、市立図書館と学校図書館との連携は定着してきており、今後も内容を充実させていく。「だいせん読書の日」には、各図書館において地域の人材の活用や話題性を取り入れた企画で、家庭や地域、社会が読書の喜びを共有できるイベントを開催する。また、「親子で読みたいブックリスト」を作成し、小・中学校で実施される「大仙っ子読書の日」の際に活用されるようPRする。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 芸術・文化の振興

(基本事業) 地域の音楽活動に対する支援の充実

新規

課所名：生涯学習部 生涯学習課 総合市民会館

『事業名』 **大仙市音楽祭開催経費**

【29年度】 **18,754** 千円 【28年度】 **0** 千円 【増減額】 **18,754** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			5,600	13,154

※ 協賛金、入場料収入

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

0歳児からの全ての市民を対象に、「音楽のまち大仙」として長年にわたって育まれてきた伝統と財産をより市民の身近なものにするため、「まちづくり」「ひとづくり」「きずなづくり」をコンセプトに市民参加型の音楽祭に創り上げる。

- 目標：音楽祭（3日間） 大ホール（8公演）、小ホール（楽器演奏クリニック/1回）
交流センター（楽器演奏クリニック/1回）

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成元年から始まった大曲新人音楽祭コンクールは、市の音楽振興に一定の成果が得られたことから、平成27年度（第28回コンクール）をもって終了し、その間、1,683名もの若い演奏家が出場した。

平成28年度はこれまでの総括として、歴代入賞者5名による「大仙市大曲新人音楽祭コンサート」を開催。

大仙市音楽祭はコンクールの後継事業として実施するものである。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

「音楽のまち大仙」としての伝統は守りつつ、市民が親しむことのできる新たな音楽祭が必要とされている。

初年度は運営ノウハウを持っている仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力してもらい、将来的には市民音楽団体が核となることが期待される。

多くの運営スタッフが必要となるが、中・高生にボランティアとして協力してもらうことで、「まちづくり」の楽しさを体験し、将来の大仙市を担う人材となることが期待される。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

大曲市民会館をメイン会場に市内音楽活動団体・市民・仙台フィルハーモニー管弦楽団が、新しいクラシック音楽祭を創り上げる。

- 仙台フィルハーモニー管弦楽団の公演内容（会場：大曲市民会館大ホール）

【1日目：0歳からのオーケストラ（仮称）】

普段、オーケストラと接する機会のない0歳からの子どもと家族たちのオーケストラデビュー。歌のお姉さんと一緒に歌ったり、持ち寄った楽器を演奏したり、様々な音楽体験を通してその楽しさを感じる。

【2日目：小・中学生のためのオーケストラ（仮称）】（芸術鑑賞事業として実施）

小学生と中学生を対象に、フルオーケストラ公演を鑑賞（小・中隔年）。音楽クリニックの機会を設け、一緒に演奏したり、指揮を体験したりすることで、よりクラシックに親しむ。

【3日目：市民のためのオーケストラ（仮称）】

音楽祭のフィナーレを飾り、「東北復興」を掲げる仙台フィルハーモニー管弦楽団が飯守泰次郎の指揮のもと、魂のこもった演奏を市民に届ける。

- 市内音楽団体の公演内容

音楽祭期間中、大曲市民会館大ホール・小ホール、大曲交流センターを無償で提供し、市内音楽団体（大曲吹奏楽団、大曲中学校吹奏楽部、オペラ/アマールと夜の訪問者、鳶バレエ団）による親しみのある曲を中心とした1公演45分及び60分のミニコンサートを開催する。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名： 生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業

【29年度】 **73,972** 千円 【28年度】 **51,000** 千円 【増減額】 **22,972** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,700		58,000		13,272

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

東北地方を代表する雄物川舟運の歴史を伝える「角間川の旧家群」を活用し、地域の歴史と交流をキーワードとした地域活性化拠点エリアを整備する。

国登録文化財の本郷家住宅をはじめとした秀逸な近代建造物群を利活用できるように、エリア内へ案内所等の便益施設を計画的に整備し、地域文化向上と広域的な文化観光交流を推進する。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成27年度…角間川エリアを地域資源と捉え、地域活性化を目指した住民活動がスタート。

平成28年度…用地買収のための確定測量及び今後の整備方針を定めるための基本計画の策定業務等を実施。合わせて秋田県知事に土地収用法の事業認定を申請し、事業採択となった。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・ 建造物群の老朽化が進んでいることから、早急に点検整備する必要がある。
- ・ 建造物群（部材含む）が秀逸であることから、地元住民・団体から「できる限り現在の姿で保存してほしい」旨の強い要望が寄せられており、建築コストの経済性の観点からも、梁や柱などを残す在来木造工法を導入する方針とするが、工事実施設計・監理に高い技術と経験を要する。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

緊急的な保存整備を概ね5年で行うとともに、まち歩き情報や地元産品等の販売機会の提供を可能とするエリア整備によって広域的な交流人口の増大を目指す。ハード面の整備が一段落した段階で、地元団体との管理運営に関する協働体制を構築していきたい。

平成29年度は、用地取得と緊急的な建造物の点検調査（基礎調査）を行い、大規模改修（リノベーション）の実施設計を策定する。

【事業年次計画】

全体事業期間 平成28年度～平成37年度

○前期5ヵ年 土地・家屋公有化、建造物保存修理、公開施設（案内所・トイレ）他

○後期5ヵ年 維持管理・公開体制等の組織整備、活用計画策定、指定管理導入体制整備 他

【平成29年度 事業費内訳】

・ 土地公有化	58,070千円
〔本郷家〕 3,059 ㎡ 30,590 千円	〔北島家〕 2,748 ㎡ 27,480千円
・ 建造物点検基礎調査業務・実施設計業務（H30工事分）	4,731千円
・ 各家応急修理業務・本郷家応急改修（公開対応改修） 修繕業務	7,585千円
・ 各家造園空間の応急修理業務・環境整備・維持管理業務 他	3,586千円
合 計	73,972千円

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 21 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツによる地域の活性化

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **全国500歳野球大会関係費**

【29年度】 **6,400** 千円 【28年度】 **3,500** 千円 【増減額】 **2,900** 千円

※29年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			6,400	

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標) 地域振興基金繰入金 他

「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、高齢者が野球を楽しみながら健康づくりを行うことをモットーに、第1回全国500歳野球大会を開催する。
 第1回大会は、出場32チームの内、県外からは、交流都市（三市）を含む20チームの参加を見込んでおり、生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、長寿社会の形成に資するとともに、当市の地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成29年度に本市で開催する第1回全国500歳野球大会へ向けて、28年度にプレ大会を実施した。

【平成28年度全国500歳野球プレ大会】

期 日：平成28年7月16日（土）～18日（月）
 会 場：大仙市総合公園野球場（主会場）、神岡野球場、仙北球場（全3会場）
 出場チーム：13チーム 316人（内、県外チーム：6都県9チーム201人）
 そ の 他：

事 業 等	実 施 内 容
歓迎レセプション	地元高校生による書道パフォーマンス 他
物 産 販 売	道の駅中仙で特産品ブース出店
市 内 観 光 ツ ア ー	旧池田氏庭園・秀よし酒造・道の駅中仙を巡るツアー：3チーム参加
開会アトラクション	小学校よさこいチームが選手先導・よさこい演舞・手作り記念品贈呈
お も て な し	小・中学生が参加全チームへ歓迎幟旗を作成、贈呈

3. C h e c k (評価：問題と課題)

全国500歳野球大会開催に関しては、各都道府県の参加対象となる団体に大会の情報提供を積極的に行うなど、PR活動を継続することで参加チームが増加するように努める。また、充実した大会運営を行うための会場整備等、野球環境の更なる向上を図る。
 全国大会は、本市の知名度を上げる良い機会となるため、歓迎レセプションや観光ツアー、特産品ブースの設置など、他の部局や宿泊施設、その他関係機関と連携して参加選手に対するホスピタリティーを充実させ、交流人口の拡大を図ることが必要である。

4. A c t (改善：今後の方向性と29年度事業の概要)

現在、全県大会は市を代表するスポーツイベントとして成長しており、出場を希望するチームが年々増加傾向にある。全国500歳野球大会の開催は、大会に参加して500歳野球の魅力を感じて頂くだけでなく、県外からの参加者に対し、市の自然・観光・伝統行事・特産品の需要拡大と交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズム事業として発展させていく。

【第1回全国500歳野球大会】

大会期日	平成29年7月15日（土）～17日（月） ※予定
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場（全6会場）
出場チーム	32チーム（県外チーム参加目標：20チーム 約400人）
予 算 等	(総事業費) 8,041千円 市負担金6,400千円・県補助金1,000千円・大会参加費640千円 等
	(主な支出内訳) 優勝・準優勝カップ、観光ツアー経費、開会式花火、記念講演、県外チーム宿泊助成金 他